

企画展 **紀元前540年**

縄文の森とムラづくり

2013年3月13日(水)～3月26日(火)

観覧無料



出土柱の年輪年代調査 (新潟県青田遺跡)

 **首都大学東京**

首都大学東京 91年館

開館時間：11:00～17:00 (会期中無休)

アクセス：京王相模原線「南大沢駅」下車 徒歩約5分

お問合せ：042-677-1111 内線 2041 (91年館 学芸員養成課程展示室)

<http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>

本企画は JSPS21320151 の助成による研究成果を、首都大学東京傾斜的研究費「学術成果の都民への発信拠点・組織の形成」により公開するものです。

縄文の森とムラづくり

2013年3月13日(水)～3月26日(火)

新潟県青田遺跡（縄文時代晩期）では、柱根群の年輪年代研究と酸素同位体分析による年代値の複合により、集落が紀元前 540 年に施設用材を伐採してはじまったことがわかりました。さらに、総ての木柱群の分析により、この集落は 72 年間存続していたことも明らかになりました。このように具体的な年代値を明示できる分析結果は日本初の事例です。そしてこの成果を利用することによって、今回の展示・関連企画でご紹介するように、縄文人の生活について時間の流れをふまえて多角的に描き出すことが可能になりました。

ムラを作って生活していた縄文時代の人々は、周辺の林や草原に常に働きかけて手を加え、様々な資源が得やすい状態を生み出していたと考えられます。しかし、そういった人為的な生態系の形成過程や技術の歴史的評価と実態については未解明の部分が多い研究段階にあります。本展示は、考古学・植生史学・年輪年代学・民俗学・分析化学といった、多様な分野の研究者との共同研究として展開してきた 7 年間の成果を紹介するものです。

今回の考古学企画展を通じ、皆様に首都大学東京をより身近な学び・発見の場と感じていただきたいと思います。



蔓植物の水漬け実験

柱の太さになるまでの時間調査

花粉の飛散状況調査



青田遺跡における建物柱根群の検出状況



クリの木の伐採実験



クリの実の萌芽実験

※おもて写真説明 上：クリの木の生産量調査（山形県小国町） 下：環状木柱列復元展示（石川県真脇遺跡）

展示内容

1. プロローグ – 森を通じて縄文を見る –
2. 紀元前 540 年 – 青田遺跡のムラづくり –
 - ① 越後平野の地形と遺跡立地
 - ② 青田遺跡のムラと森
 - ③ 木柱から探るムラの年代
 - ④ 越後平野の縄文のクリ林
 - ⑤ 縄文時代のクリ
 - ⑥ 縄文漆の技術
3. ムラづくりとクリの利用
 - ① 石川県チカモリ遺跡
 - ② 石川県真脇遺跡
 - ③ 富山県桜町遺跡
 - ④ 奈良県観音寺本馬遺跡
4. 縄文を科学と実験で解き明かす
 - ① 放射性炭素年代測定
 - ② 縄文を実験する
 - ③ 木の実の保存実験
 - ④ 燃料材の利用を探る
5. エピローグ – 縄文人と森 –

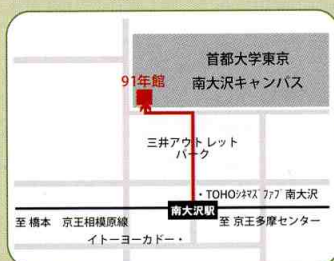
催し物

講演会（一般の方向け）

- ◆日 時：平成 25 年 3 月 16 日（土）13:00～14:30
- ◆会 場：首都大学東京 南大沢キャンパス 本部棟 1 階大会議室
（定員 100 名・参加無料・事前申し込み不要）
- ◆プログラムおよび講演者 司会 山田昌久（首都大学東京）
 - 1) 「縄文の森とムラづくり」 荒川隆史（新潟県教育庁）
 - 2) 「木柱から探るムラの年代」 木村勝彦（福島大学）

シンポジウム（研究者向け ※一般の方もご参加いただけます）

- ◆日 時：平成 25 年 3 月 16 日（土）14:40～17:00
平成 25 年 3 月 17 日（日）9:30～15:30
 - ◆会 場：首都大学東京 南大沢キャンパス 本部棟 1 階大会議室
（定員 100 名・参加無料・事前申し込み不要）
 - ◆プログラムおよび講演者
- 3 月 16 日
- 1) 「研究の概要」 木村勝彦・荒川隆史・山田昌久
 - 2) 「越後平野の遺跡と地質環境」 卜部厚志（新潟大学）
 - 3) 「花粉からみた縄文の森林利用」 吉川昌伸（古代の森研究舎）
 - 4) 「縄文のクリの実」 吉川純子（古代の森研究舎）
 - 5) 「青田遺跡・野地遺跡の漆利用について」
三ツ井朋子（(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団）
- 3 月 17 日
- 1) 「金沢市チカモリ遺跡の集落構成とクリ利用」
向井裕知（金沢市埋蔵文化財センター）
 - 2) 「富山県桜町遺跡の水辺の暮らしとクリ利用」
大野淳也（小矢部市教育委員会）
 - 3) 「奈良県観音寺本馬遺跡のクリ林」 平岩欣太（橿原市教育委員会）
 - 4) 「奈良盆地南部における縄文・弥生移行期の森林とその利用」
岡田憲一（奈良県立橿原考古学研究所）
 - 5) 「ウイグルマッチングによる縄文ムラの年代測定」 西本寛（愛知大学）
 - 6) 「縄文を実験する」 山田昌久
 - 7) 「集落環境からみた燃料材の利用」 大楽和正（新潟県立歴史博物館）
 - 8) 「クリと「生存のミニマム」— 民俗のクリ—」
赤羽正春（神奈川大学国際常民文化研究機構 共同研究員）
 - 9) パネルディスカッション「縄文集落の森林利用を探る」 発表者全員



首都大学東京 91 年館

アクセス：京王相模原線「南大沢駅」下車 徒歩約 5 分
 ※南大沢駅改札口を出て右手奥に南大沢キャンパスが見えます。正門の手前で左折、130m 程進むと 91 年館です。大学構内には入らずにお越しいただけます。
 ※一般車両の駐車場はございませんので、公共交通機関にてお越しください。

お問合せ：首都大学東京 91 年館（学芸員養成課程展示室）
 〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番地 首都大学東京 南大沢キャンパス
 TEL 042-677-1111(内線 2041) <http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>